

記者発表(展示説明)のお知らせ

令和3年6月 23 日

各報道機関 様

京都府立丹後郷土資料館

企画展「うらの海の文化遺産－海と人の持続可能なつきあい方を考える－」の記者発表(展示説明)を下記のとおり行いますので、お知らせします。

なお、当日御都合のつかない場合は、後日でも説明させていただきますので、事前に御連絡願います。

記

日 時 : 令和3年7月 16 日(金) 午前 11 時から

場 所 : 府立丹後郷土資料館

企画展 うらの海の文化遺産－海と人の持続可能なつきあい方を考える－ (別添開催要項)

- 1 会 期／令和3年7月 17 日(土) ～ 9月5日(日)
- 2 会 場／ふるさとミュージアム丹後(京都府立丹後郷土資料館)
宮津市宇国分小字天王山 611-1
- 3 開館時間／午前 9 時～午後 4 時 30 分
- 4 休館日／毎週月曜日(ただし8月9日は開館し、翌日休館)
- 5 関連事業
 - (1)文化財講座 「宮津湾の漁業の現状と未来への展望」
日時:7月 17 日(土) 13 時 30 分から
会場:当館第一研修室
講師:本藤 靖 氏(漁師、宮津湾とり貝育成組合会長)
定員:30 名(当日 11 時 30 分から先着順に整理券を発行)
 - (2)文化財講座 「マイクロプラスチックの海洋汚染！－琴引浜の漂着物から海を漂う
ごみ問題を考える－」
日時:8月 21 日(土) 13 時 30 分から
会場:当館第一研修室
講師:安松 貞夫 氏・安松 美佐子 氏
(琴引浜ネイチャークラブハウス)
定員:20 名(当日 11 時 30 分から先着順に整理券を発行)

展示担当	資料課 青江 智洋
電話	(0772)27-0230

企画展 開催要項

- 1 名 称 企画展「うらの海の文化遺産－海と人の持続可能なつきあい方を考える－」
- 2 会 期 令和3年7月17日(土)から9月5日(日)まで
開館日数：44日間（会期51日のうち）
開館時間：午前9時から午後4時30分まで
休 館 日：毎週月曜日(ただし、8月9日は開館し翌日休館)
- 3 会 場 京都府立丹後郷土資料館（京都府宮津市字国分小字天王山 611-1）
TEL：0772-27-0230 FAX：0772-27-0020 URL：<http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/>
- 4 主 催 京都府立丹後郷土資料館

5 開催趣旨

海とともに生きてきた丹後の古老は、地先の水産資源を「うらら(私等)の宝」と言いました。国選択無形民俗文化財「丹後の漁労習俗」には、その宝を持続可能なかたちで利用する知恵と技術が詰まっています。

近年、国際連合開発計画（UNDP）による「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals＝SDGs）」が各方面で注目されています。そうした国際的な潮流の中でミュージアム(博物館・資料館等)の果たす役割が問われています。

本展では、丹後地域における伝統的な沿岸漁業の特色と変遷を示す資料である「丹後半島の漁撈用具(国登録有形民俗文化財)」を中心に展示し、先人の海の営みの中に埋め込まれてきた水産資源管理の知恵と技術に学びながら、海と人(地域社会)の持続可能なつきあい方について考えます。これを通じて、SDGsの中で掲げられている「海の豊かさを守る」というコンセプトについて理解を深めたいと思います。

6 展示内容・主な展示資料

- (1) 丹後の海の豊かさを考える－対馬海流がもたらす海の幸と不幸－

大風呂南1号墓出土ガラス釧、『日本山海名産図絵』、琴引浜の漂着資料など

Topic 幽霊漁具(ゴースト・ギア)－海を漂うプラスチック製漁具の脅威－

- (2) 海と人の持続可能なつきあい方を考える－水産資源を守り伝える知恵と技術－

丹後半島の漁撈用具(漁網・水視用具・海苔摘み用具など)、漁業鑑札など

Topic 海のしきたりをまもる－阿蘇海と久美浜湾－

Topic 住まいをつくり育てる－丹後の人工魚礁と養殖－

Topic 森と川と海をつなげる－丹後の魚つき林と「漁民の森」運動－

- (3) 海とつながる私たちの暮らしを考える

丹後の紡織用具及び製品(ドンザ・スマブクロ)、ポリエチレン製牡蠣養殖用まめ管など

Topic 食卓に上るプラスチック－私たちは知らないうちにプラスチックを食べている!?－

7 展示資料点数 合計約 100 点

8 関連事業

- (1) 講演会 「宮津湾の漁業の現状と未来への展望」
日 時 7 月 17 日（土） 午後 1 時 30 分から 3 時まで
場 所 当館 第一研修室
講 師 本藤 靖 氏（漁師、宮津湾とり貝育成組合 会長）
定 員 30 名（当日午前 11 時 30 分から先着順に整理券を発行）
- (2) 講演会 「マイクロプラスチックの海洋汚染！ー琴引浜の漂着物から海を漂うごみ問題を考えるー」
日 時 8 月 21 日（土） 午後 1 時 30 分から 3 時まで
場 所 当館 第一研修室
講 師 安松 貞夫 氏・安松 美佐子 氏（琴引浜ネイチャークラブハウス）
定 員 20 名（当日午前 11 時 30 分から先着順に整理券を発行）

9 協力機関・個人（敬称略）

伊根浦漁業株式会社、おちゃやのかか、琴引浜鳴き砂文化館、琴引浜ネイチャークラブハウス、田井水産有限会社、舞鶴市文化振興課、与謝野町教育委員会、伊根町教育委員会、京都府立海洋高等学校、京都府農林水産技術センター海洋センター、由良川漁業協同組合
井之本泰、加治春夫、倉庄嗣、立花武雄、田中康雄、平井貞雄、濱田安久、本藤靖、松下徳雄、三浦到、水嶋敬次、森本孝、八木一弘、安松貞夫、安松美佐子、吉岡純一郎

10 入 館 料

一般 200 円 小中学生 50 円、団体割引(20 名以上)：一般 150 円 小中学生 40 円

ただし、次の方は無料。満 65 歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者、小中学校等の学校教育活動の場合。「きょうと子育て応援パスポート」が利用できます。

11 その他

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によって、中止・変更・人数制限等を行うことがあります。

企画展

うららの海の文化遺産

— 海と人の持続可能なつきあい方を考える —

2021 Kyoto Prefectural Tango Regional Museum Special Exhibition



—— 丹後の海の文化遺産で
循環型社会を考える

2021年

7月17日(土) - 9月5日(日)

休館日 月曜日(※8月9日は開館して翌日休館)

開館時間 午前9時～午後4時30分

入館料 一般 200円 小中学生 50円

団体割引(20名以上) 一般 150円 小中学生 40円

○ただし、次の方は無料

満65歳以上の方、障害者手帳などをお持ちの方とその介護者
小中学校等の学校教育活動の場合

○「きょうと子育て応援パスポート」が利用可能

KYOTO PREFECTURAL TANGO REGIONAL MUSEUM

ふるさとミュージアム丹後

(京都府立丹後郷土資料館)

〒629-2234

京都府宮津市宇国分小字天王山 611-1

TEL.0772-27-0230 FAX.0772-27-0020



海の京都

ふるさとミュージアム丹後 検索 <http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/>

海とともに生きてきた丹後の古老は、地先の水産資源を「うらら（私等）の宝」と言いました。国選択無形民俗文化財「丹後の漁労習俗」には、その宝を持続可能なかたちで利用する知恵と技術が詰まっています。

近年、国際連合開発計画（UNDP）による「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals=SDGs）」が各方面で注目されています。そうした国際的な潮流の中でミュージアム（博物館・資料館等）の果たす役割が問われています。

本展では、丹後地域における伝統的な漁業の特色と変遷を示す資料である「丹後半島の漁撈用具（国登録有形民俗文化財）」を中心に展示し、先人の海の営みの中に埋め込まれてきた水産資源管理の知恵と技術に学びながら持続可能な海と人（地域社会）のつきあい方について考えます。

これを通じて、SDGsの中で掲げられている「海の豊かさを守る」というコンセプトについて理解を深めたいと思います。

2050年…海洋プラスチックごみの総重量が
海にいる魚の量を上回る!?

海流によってさまざまなゴミが漂着する冬の浜辺（京丹後市網野町掛津 2021年）



岩海苔の加工（京丹後市丹後町袖志 2021年）



人工漁礁事業（舞鶴市田井 1955～64年代）

表面画像キャプション

①船屋台（伊根町）／②水視漁でワカメの採捕（京丹後市）／③由良川の稚鮎放流（福知山市）／④牡蠣の養殖（京丹後市）／⑤海洋プラスチックごみ調査（京丹後市）／⑥京都府大島呂南1号墓出土のガラス釧（重要文化財）（与謝野町）／⑦岩海苔摘み（京丹後市）／⑧冠島と老人嶋大明神幟（舞鶴市）／⑨魚つき保安林標識（宮津市）
蝶は海を渡る蝶・アサギマダラ（京丹後市）／ごみイラストは経済産業省ウェブサイト（<https://www.meti.go.jp/main/rules.html>）を加工して作成。



交通のご案内

- ・京都丹後鉄道宮豊線「天橋立駅」または「岩滝口駅」から丹海バス伊根方面行き「丹後郷土資料館」下車。または「国分」下車徒歩5分
- ・与謝天橋立ICから車で10分

ナワカゴ



タコヒキジ



イカツケ



ハコメガネ



ガラスウキ



ゼンマイキヤーガラ



キヤーガラ



アンバリ



ワカメカリ



アワビカギ



サザエヤス



国登録有形民俗文化財 丹後半島の漁撈用具〔一部〕

関連事業 ※会場はいずれも当館

講演会

「宮津湾の漁業の現状と未来への展望」

日時 7月17日(土) 午後1時30分～3時

定員 30名（当日午前11時30分から先着順に整理券を発行）

講師 本藤 靖さん（漁師・宮津湾とり貝育成組合 会長）

講演会

「マイクロプラスチックの海洋汚染！

－琴引浜の漂着物から海を漂うごみ問題を考える－

日時 8月21日(土) 午後1時30分～3時

定員 20名（当日午前11時30分から先着順に整理券を発行）

講師 安松 貞夫さん 安松 美佐子さん
（琴引浜ネイチャークラブハウス）

※イベントの開催にあたって

イベントにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として、イベント当日はマスクの着用、手指の消毒（アルコール消毒液）をお願いします。また、当日参加予定の方で発熱症状がある場合は参加自粛をお願いします。ソーシャルディスタンス確保のため定員を少人数に設定しています。なお、感染状況によってはイベントの開催を中止させていただく場合があります。ご来館前に必ず当館HPあるいはお電話等で開催の有無をご確認ください。



宮津湾の
豊かさの秘密を
お話します



琴引浜の
美しさの秘密を
お話します